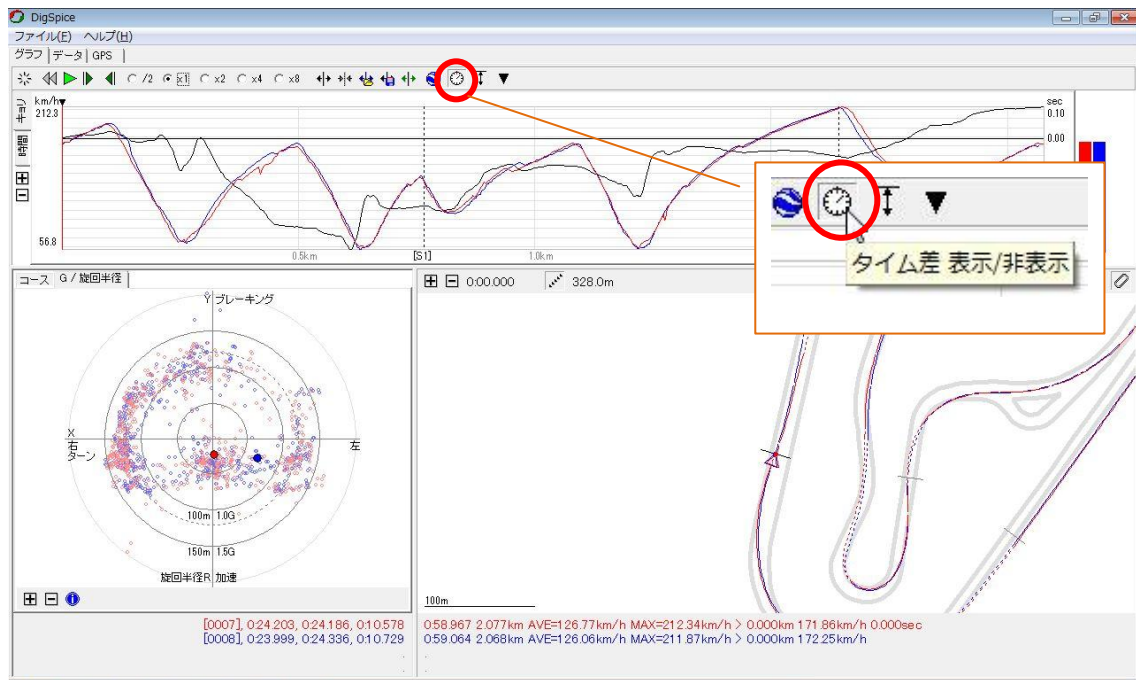


タイム差 (C-TIME) の見方

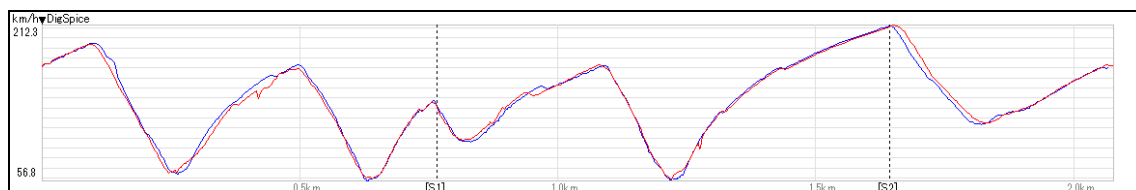
赤車両を基準とし青車両とのタイム差 (C-TIME) をグラフ上に表示します。

1. 表示方法

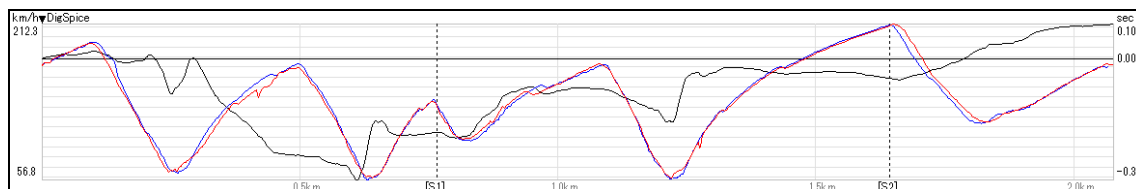
【グラフ】の時計アイコンで表示/非表示の指定が可能です。



■ 非表示

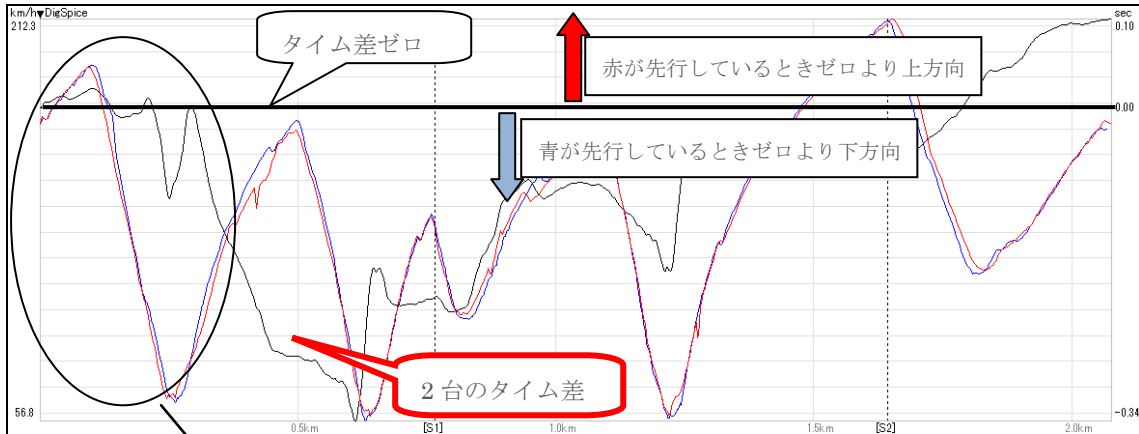


■ 表示



表示時は、黒実線が 2 本表示されます。

## 2. グラフの見方

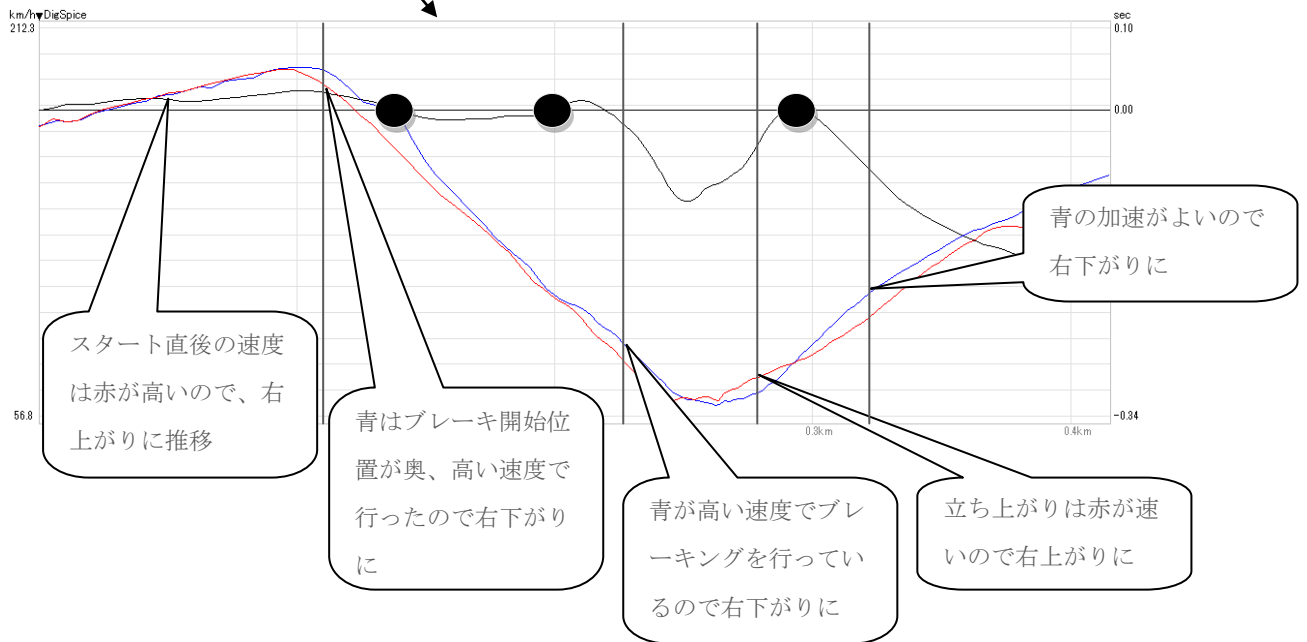


黒の直線は、タイム差ゼロの基準線です。

黒の曲線は、赤車両を基準とし青車両とのタイム差の推移を表しています。

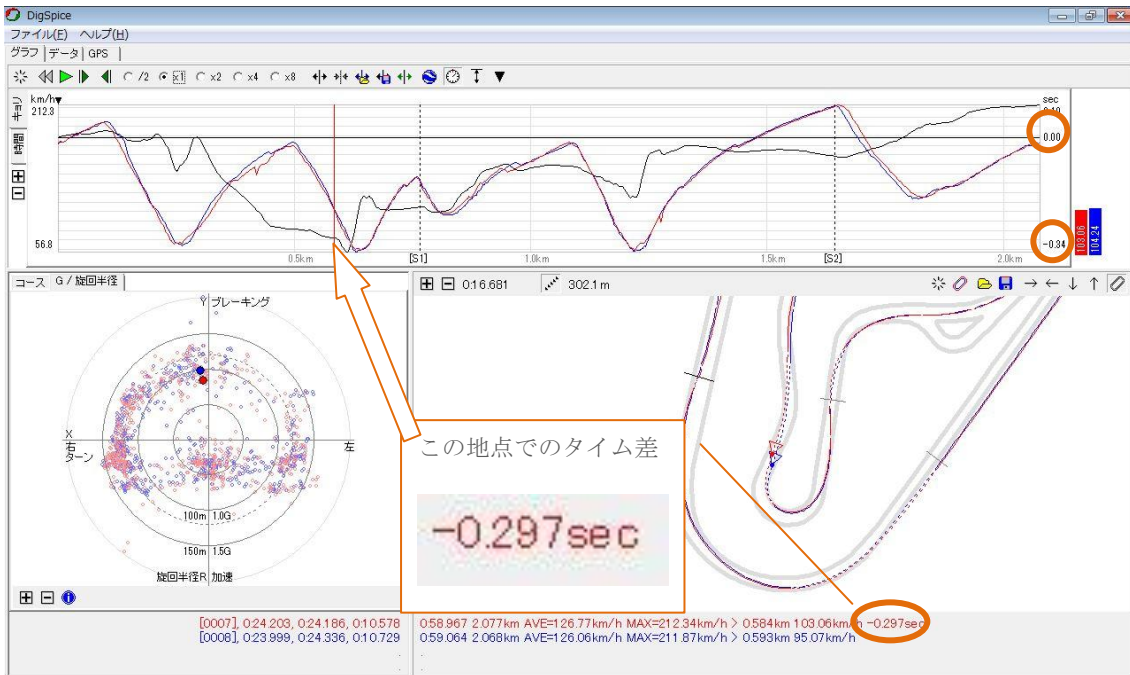
※コントロールライン(スタート地点)は同時にスタートしているのでタイム差ゼロとなります。

### ■ 拡大図



●地点では2台が同タイム(追いついている)となっています。

## ■ タイム差表示



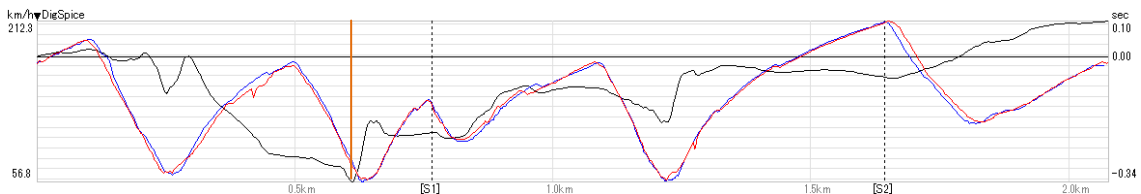
グラフ右側目盛がタイム差です。

右下の数値は速度グラフの赤縦線地点の2台のタイム差を表示しています。

## 3. データの見方

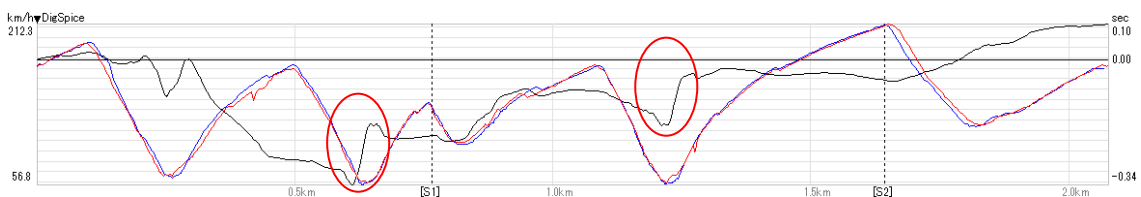
### 3.1 タイム差比較

2台のラップタイムは、ほぼ同じで赤 **58.967 秒** 青 **59.064 秒** タイム差 0.097 秒



しかし、赤縦線位置の地点では、青の方が **0.339 秒** 先行していたことが読み取れます。  
最終的なラップタイムだけでは分からない内訳を知ることができます。

3.2 タイム差の曲線が急峻に変化しているところが、大きく先行 (あるいはロス) したところ  
です。



赤丸の位置は、赤車両が青車両に対し大きく先行した場所を示しています。

このようなところに着目して走行内容を比較してください。

#### 4. タイム差 (C-TIME) 表示の注意点

3.1 タイム差は、速度ウインドウの横軸が距離のときしか表示されません。

3.2 セクタを入れたときと入れないときではグラフが変わります。

タイム差 (C-TIME) は走行ライン (走行距離) の違いにより誤差を生じます。

途中にセクタを入れることで、その地点で走行距離の違いを補正します。

より正しいグラフを表示させるために、走行ラインが異なる箇所にセクタを入れることを推奨します。